

学会認定申請 症例報告書に関する自己チェックリスト

【症例選択】

- 異なる睡眠障害の5症例（全てが呼吸障害例ではない）である
- 睡眠呼吸障害の各症例では、重症度または治療法が異なっている

【記述】

- 診断基準（ICSD2 または 3 など）、PSG 判定基準（R&K 法、AASM 判定マニュアル ver.1 または ver.2 など）を明記している
- 症例の診療および症例報告書作成の指導者による指導がなされたことの署名・捺印がある
- 現所属ではない機関の症例を提出する場合は、「様式3の2」睡眠障害に関する医療経験および研修経験に「関与・関係」が記載されている
- 模範例からのコピーペーストがない
- 指定の報告書フォーマットを使用している
- 記載事項は細則に示されているものに準じている
- 使用用語は適切で誤字がない
- 英字略語には説明をつけている
- 単位をつけている
- 数値の計算は正確である

【添付する図表】

- 各症例は、PSG が行われておりその検査結果がまとめられた表、睡眠経過図、およびそれらの解説の記載がある
- 診断に特異的な PSG 波形は鮮明な実波形を添付している
- 添付の実波形には表示時間や脳波等の感度が記されている
- 添付の図表には表示項目を明記している（用語の説明、図説を記載する）

【注意事項】

- 全症例の PSG を視察判定している

***詳細は規約・細則を必ずご確認ください**